

英語上級者への道～Listen and Speak

第4回 ヨーロッパからの新しい考え

日本語訳

■Dialogue for Introduction

E: みなさん、こんにちは。また新たな年がやってきました。いつものことながら、世界中の人々が良い変化を期待していますね。

T: その通りだね。永遠に続くものはない。あらゆる問題についても、おそらく同じことが言えるだろうね。私は、日本の経済や世界の経済が活性化することを期待していますよ。

E: 君は、バブル時代の輝かしい日々を懐かしく思っているんじゃないかい？

T: そうさ。あのころは、特に1980年代は、預金金利が6～7パーセントだった。「失われた10年」という言葉が、バブル崩壊以降の経済の後退を意味するものとして作られたんだ。そして、リーマンショックが回復の芽をダメにしてしまった。いまや、「失われた20年」というべきだよ。もう2013年だ。

E: 不況やいくつかの産業の衰退といった経済の現象は、「盛者必衰」ということわざが、まさに真実だということを示しているね。しかし、我々の経済を活性化するための何らかの方法があるはずだよ。

T: バブル経済が終わってからの20年を振り返ると、「いろいろな事業を統合化の方がよい」ということを学ぶべきだね。たとえば、住宅と交通。私が言いたいのは、交通システムといくつかの産業の発展や回復を統合するべきだ、ということさ。

E: 君は正しいよ。前に進む新しい道が見つかるはずだ。成功している戦略を求めて、世界を見渡してみよう。今月のパッセージは、こういったことと大いに関係があるんだ。さっそく聞いてみようか。

T: そうしよう。

■Listen to the passage and answer the two questions that follow.

ヨーロッパからの新しい考え【2012-1 1st Part 2, B】

アメリカの不景気は、デトロイトやクリーブランドのような工業都市を衰退させ、人口減少や税収減という結果を招いている。市民の指導者たちは、この問題の解決のためにヨーロッパでの事例を調べている。都市の衰退への対処については、ヨーロッパがひと足先に始めている。1980年代、90年代の間、ドイツのライプチヒやイギリスのマンチェスターといった都市は、工業の深刻な衰退を経験した。その事態は、高い失業率と住民の流出をもたらす結果となった。しかしそれ以降、これらの都市は再活性化された。以前は工業地帯だったところでは、工場やレンガ造りの倉庫が時代にあった店舗や集合住宅として生まれ変わったのだ。

アメリカのいくつかの都市の市民指導者たちは、都市の衰退と戦うための3年計画に共同で取り組んでいる。この計画には、ヨーロッパの都市で使われて成功した戦略を見極め、適用することが含まれている。しかし、懐疑派はこれらの方法がアメリカで同じような効果があるかどうかを疑っている。懐疑的な人たちによれば、ヨーロッパの市民は地方自治体の事業を喜んで支持する。加えて、ヨーロッパの都市計画は統合的な傾向がある。教育、娯楽、交通、そして住宅まで、すべて一緒に計画されるのだ。一方、

アメリカではたいていの場合、各分野の計画が別々の機関によって単独で実施される。これらの機関の間での協力関係の弱さが、アメリカの都市を再活性化する試みの成果に深刻に影響しているのかもしれない。

【質問】

次の二つの質問にそれぞれ 30 秒以内で答えてください。

No.1 アメリカの市民指導者たちは、なぜ、ヨーロッパの都市について研究しているのですか？

No.2 懐疑論者たちは、なぜ、ヨーロッパ流の活性化はアメリカでは効果がないかもしれないと考えているのですか？

■ Let's study vocabulary and expressions

日本語を聞いて、エドワードのあとについてくり返してください。

1	衰退する状態にある	in decline
2	税金	tax dollar
3	都市の衰退	urban decay
4	一歩早いスタート	head start
5	脱出、移動	exodus
6	新しい活力を与える	revitalize
7	レンガ造りの倉庫	brick warehouse
8	見つける、特定する	identify
9	懐疑派、疑い深い人	skeptic
10	統合する	integrate
11	運輸、交通	transit
12	調整	coordination

■ Listen to the passage and once more answer the two questions that follow!

ヨーロッパからの新しい考え【2012-1 1st Part 2, B】

アメリカの不景気は、デトロイトやクリーブランドのような工業都市を衰退させ、人口減少や税収減という結果を招いている。市民の指導者たちは、この問題の解決のためにヨーロッパでの事例を調べている。都市の衰退への対処については、ヨーロッパがひと足先に始めている。1980年代、90年代の間、ドイツのライプチヒやイギリスのマンチェスターといった都市は、工業の深刻な衰退を経験した。その事態は、高い失業率と住民の流出をもたらす結果となった。しかしそれ以降、これらの都市は再活性化された。以前は工業地帯だったところでは、工場やレンガ造りの倉庫が時代にあった店舗や集合住宅として生ま

れ変わったのだ。

アメリカのいくつかの都市の市民指導者たちは、都市の衰退と戦うための 3 年計画に共同で取り組んでいる。この計画には、ヨーロッパの都市で使われて成功した戦略を見極め、適用することが含まれている。しかし、懐疑派はこれらの方法がアメリカで同じような効果があるかどうかを疑っている。懐疑的な人たちによれば、ヨーロッパの市民は地方自治体の事業を喜んで支持する。加えて、ヨーロッパの都市計画は統合的な傾向がある。教育、娯楽、交通、そして住宅まで、すべて一緒に計画されるのだ。一方、アメリカではたいていの場合、各分野の計画が別々の機関によって単独で実施される。これらの機関の間での協力関係の弱さが、アメリカの都市を再活性化する試みの成果に深刻に影響しているのかもしれない。

【質問】

次の二つの質問にそれぞれ 30 秒以内で教えてください。

No.1 アメリカの市民指導者たちは、なぜ、ヨーロッパの都市について研究しているのですか？

No.2 懐疑論者たちは、なぜ、ヨーロッパ流の活性化はアメリカでは効果がないかもしれないと考えているのですか？

■Repetition and Interpretation Drill

英文がポーズ付きで読めます。また、日本語の訳が流れます。

- 1) ポーズの間に英語をリピートしましょう。きちんとリピートできるようになるまで何度も練習しましょう。
- 2) 聞きながら、ポーズの間に日本語に訳してみましょう。モデルの日本語が流れる前に、自分の訳を言い終えることができるように、何度も練習しましょう。
- 3) 英文が聞こえるのと同時に、シャドーイングをしてみましょう。さらにポーズの間に日本語に訳しましょう。

ヨーロッパからの新しい考え

アメリカの不景気は、デトロイトやクリーブランドのような工業都市を衰退させ、その結果、人口減少や税収減になっている。

市民の指導者たちは、解決のためにヨーロッパでの事例を調べている。

都市の衰退に対処することと言えば、

ヨーロッパが一步先にスタートをしている。

1980 年代、そして 90 年代の間、

ドイツのライプチヒやイギリスのマンチェスターといった都市は、

工業の深刻な衰退を経験した。

その事態は、高い失業率と住民の流出をもたらす結果となった。

それ以降、これらの都市は再活性化された。

以前工業地帯であったところでは、工場やレンガ造りの倉庫が生まれ変わった。

時代にあった店舗や集合住宅として。

いくつかのアメリカの都市の市民の指導者たちは、共同で取り組んでいる。

都市の衰退とたたかうための3年計画に。

この計画には、成功した戦略を見極め、適用することが含まれている。

ヨーロッパの都市で使われた戦略のなかから。

懐疑派は、しかし、これらの方法がアメリカで同等の効果があるかどうか疑っている。

ヨーロッパの市民は、懐疑的な人たちによれば、地方自治体の事業を喜んで支持する。

さらに加えて、ヨーロッパの都市計画は、統合的な傾向がある。

教育、娯楽、交通、そして住宅が、すべて一緒に計画されるのだ。

アメリカでは、各分野の計画が、たいていの場合、単独で実施される。

別々の機関によって。

これら各機関の間の、拙い協力が、深刻に影響するかもしれない。

アメリカの都市を再活性化する試みの成果に対して。

■ Model Answers

解答例を聴いて、自分の答えと比べてみてください。

T: さて、エドワード。君の答えを聞かせてくれるかい。1番「アメリカの市民指導者たちは、なぜ、ヨーロッパの都市について研究しているのですか？」

E: ヨーロッパの都市によって使われ、うまくいった戦略を、自分たちの都市を活性化するために改良して使おうとしているから。

T: ありがとう。2番「懐疑論者たちは、なぜ、ヨーロッパ流の活性化はアメリカでは効果がないかもしれないと考えているのですか？」についてはどうだろうか。

E: 二つの理由があるね。一つ目は、ヨーロッパの人々は、アメリカの人々よりも、進んで地方自治体の事業を支持する、ということ。二つ目は、ヨーロッパではいろいろな事業が統合された形で行われる傾向があるが、アメリカではそれぞれ独自に別々の機関によって計画され実行に移される、ということだ。

■ Challenge 1

T: さて、エドワードがみなさんに質問します。答えてみてください。最低30秒間は話し続けてください。

E: ドイツのライプチヒとイギリスのマンチェスターは、とても栄えている工業都市ですよ？

E: 解答例です。では、テツの答えを聞いてみましょう。解答例を示してくれますので、自分の答えと比べてみてください。

T: そうだった、と言うべきですね。かつては工業が盛んでしたが、それが衰えて、都市の衰退という苦い経験を味わったのです。今、これらの都市はうまく活性化されました。かつて工場や倉庫があったところに、今では流行の店やマンションがあるそうですよ。

■ Challenge 2

T: 聞いてください。次の意見に対して、少なくとも 30 秒間、反対意見を述べてください。みなさんの発言には、先ほど聞いたパッセージにあった、いくつかのポイントが含まれていなければなりません。用意はいいですか？

T: ある都市が衰退の兆候を見せ始めたら、その都市を去って別の住む場所を探すのが賢明だ。地方自治体の税収が少なくなるために税金が上がったり、公共サービスが悪くなったりするだろうから。こうした住民の転出を誰も止めることはできない。人口は減り、どの事業も市場におけるシェアを失うことになるだろう。

T: 解答例です。では、エドワードの答えを聞いてみましょう。解答例を示してくれますので、自分の答えと比べてみてください。

E: 経済が危なくなった都市を捨てる方に心をひかれるかもしれないが、ヨーロッパの例はそういった都市が救われる可能性があることを示している。そのような都市は、不動産(土地や建物)をよりうまくいく事業へ転用することによって、落ち込んだ商業活動を活性化するという都市計画を行った。ライプチヒやマンチェスターは、両方ともそのような転換の良い見本である。

■ Closing Dialogue

E: 君が言ったように、「統合」が、都市の衰退の速度を遅らせたり止めたりするための鍵の一つだ。ここ日本でも、住宅、交通やその他の計画が、それぞれ別個に切り離された団体によって作られ、実行に移されているというのが実情だ。

T: その通り。事業や団体の統合や協調が不可欠だよ。いまや我々の政府も新しくなったから、政府や地方自治体が、基盤整備や経済に対してより協調して取り組んでくれることを期待しているよ。

E: 僕もだよ。衰退している都市を活性化するのは難しいけれど、不可能じゃない。日本にだって良い例があるしね。

T: そうだよ。伊勢市の「おかげ横丁」について聞いたことがあるかい？

E: ああ、あるよ。あの商業地区は、一度は人気がなくなって、訪れる人の数がひどく落ち込んだ。でも、なんとか立ち直った。

T: あの地区は、伊勢神宮へのたくさんの訪問者を惹きつけている。初詣に伊勢神宮へ行き、おかげ横丁へも足を運び、活性化の成功例を見るというのもいいんじゃないかな。

E: それにひっかけて、みなさんにとって 2013 年が良い年であることを願いましょう。

T: そうしましょう。

E&T: 良い年でありますように！

以下の URL にぜひ、アクセスしてみてください。今月の passage の内容にあったマンチェスターのことがも
っとわかると思いますよ。

●GMCA & AGMA Web Site

<http://www.agma.gov.uk/>

●Daily Yomiuri Online - Revitalizing Japan

<http://www.yomiuri.co.jp/dy/national/T120228005147.htm>